

京都信用金庫の環境への取組みについて

基本理念

コミュニティ・バンク京都信用金庫は「持続可能な発展への貢献を最大化」することが最重要課題の一つであることを認識し、「かけがえのない地球環境」と調和した地域社会の繁栄を追及します。役職員一人ひとりが「健全で恵み豊かな環境」を守り続けるために考え、行動します。そして地域の皆様との絆を育み、協働してエココミュニティの発展に全力で取り組んでまいります。

【社会的責任を導入した環境マネジメントシステムの取得】

平成24年10月1日、従来の環境マネジメントシステムにISO26000（社会的責任に関する手引き）の要素を導入した新規格「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ2SR」の認証を取得しました。

当金庫では、平成22年に制定した「環境宣言」にかえて、平成24年6月1日に新たに「SR（社会的責任）・環境宣言」を制定しました。

また、KES環境機構の規格に基づいたSR・環境マネジメントシステムの構築により、当金庫の活動及び金融商品・サービスに係るSR（社会的責任）活動の向上並びに環境影響の低減を推進し、役職員一人ひとりが積極的にSR（社会的責任）・環境活動に取り組んでいます。

【「京都信用金庫 絆の森」森林保全活動】

平成25年4月16日、京都信用金庫は上仰木仕ケ下生産森林組合様と、琵琶湖森林づくり条例に基づく「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結しました。この協定締結により、琵琶湖の水源であり、二酸化炭素の吸収源としても重要である森林を、次世代に健全な姿で引き継ぐために、地域と協働で森林整備に努めています。

当金庫は、契約した約75haの森林を「京都信用金庫 絆の森」と名付け、組合員の皆様のご指導のもと、役職員とその家族による森林保全活動を行っています。



【屋上緑化システムの導入】

平成26年4月に新築オープンした「桂川支店」では、当金庫で初めて屋上緑化に取り組みました。この屋上緑化システムは、京都府立桂高校で開発された軽量型のシステムで、同校が発見し、研究している京都固有のノシバ「太閤芝」を用いています。環境に配慮した店舗作りを進めるとともに、同校の研究をサポートしています。

【「夏休み子ども環境教室」の開催】

当金庫では、平成23年より当金庫枚方支店にて、地域の小学生と保護者の方を対象とした「夏休み子ども環境教室」を開催しています。

教室では、ワークキットを使った体験学習のほか、枚方支店の太陽光発電システムや風力発電機を見学するエコスタンプラリーなど盛りだくさんの内容となりました。

参加された皆様からは「実験や工作が楽しかった」「子どもと学べるいい機会となった」といった感想が寄せられました。

【地域の清掃活動】

当金庫では、環境保全活動の一環として、地域の清掃活動や河川清掃活動に参加しています。

平成23年より取り組む河川清掃活動では、京都府の桂川流域全体で一斉に清掃活動を行う「桂川クリーン大作戦」や、京都市山科区の環境向上を目指し、企業間が協力して活動を行う「山科美化推進企業協議会」の河川清掃活動に参加しています。



大阪府では、七夕伝説で知られる天野川において、シジミ、アユ、ホタルが生息できる清流にすることを目的に、清掃活動に取り組んでいます。

【「京信 エコユニット 絆」の活動】

当金庫では、東京商工会議所主催の「環境社会検定試験（eco 検定）」の受験を推進し、多数の役職員がeco 検定合格者＝エコピープルとなりました。

また、eco 検定合格者の活動支援を目的に東京商工会議所内に設置されている「エコピープル支援事業」に「京信 エコユニット 絆」として登録し、eco 検定の受検で得た知識を活かしてCSR活動に取り組んでいます。